



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 遠藤 嘉一
幹事 佐藤 政司
SAA 丹野富二男
会報小委員長 釣巻 穰

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

2009 ~ 2010 年国際ロータリーのテーマ

第 2350 回 例会 平成 22 年 2 月 24 日 (水・晴)

ゲスト
なし

ロータリーソング
— 今月は世界理解月間です —



会員卓話 釣巻 穰 会員

4 つのテスト
鈴木 正人 会員

◎会長報告 - 遠藤会長

皆様、今日は。今年の冬は寒い日が続きましたが、ようやく少しずつ暖かくなって参りました。このまま暖かくなれば良いなと私は思っております。少し会長報告とは話がずれるかもしれませんが、先週 2 月 17 日の例会の日に俳優の藤田まことさんがお亡くなりになりました。私の好きな俳優のひとりです。藤田さんは 1933 年 4 月 13 日生れ、76 歳で私の 1 歳上です。大動脈からの出血で亡くなったようです。最初に彼を見たのは 1962 年に始まった民間放送のテレビで、てなもんや三度笠に出演していました。大変人気のある番組で、関西では視聴率 60 パーセント以上で今では考えられない数字でした。白木みのるさんとコンビを組んで最後には必ず「俺がこんなに強いのも当たり前だのクラッカー」とコマーシャルを決め、一世を風靡しました。その後しばらく、鳴かず飛ばずの時期がありましたが、1973 年「必殺仕置人」に登場する中村主水役で大ブレイクし、演技派に変身を遂げました。家庭や奉行所では、うだつが上がらない役人で、裏では法で裁けぬ悪人を闇で葬る凄腕のヒーロー像を作り上げました。私が好きで見ていた番組は、「はぐれ刑事純情派」の安浦刑事です。このドラマは 21 年間で 444 話続きました。派手なアクションの刑事ドラマに比べて、拳銃も手錠も

持たない普通のオッサン刑事のほのぼのとした人情味溢れるドラマでした。罪を憎んで人を憎まず、シリアスな中に人情とユーモアを秘めたキャラクターを演じ、昨年 12 月 26 日にこのシリーズの最終版が放送されました。先日も追悼番組で再放送されましたが、福島県の二本松と岳温泉が舞台で本当に最後のドラマになってしまいました。ドラマの最後の場面で必ずバーさくらで真野あずさ演ずるママと日本酒を酌み交すシーンが印象的でした。相思相愛であり乍ら、もう一歩が近づくことがなかった 2 人が最終版で、御袋さんの墓参りに誘うシーンがあり、ようやくホッと感動致しました。大変惜しい俳優さんを亡くしたと思っています。1 つの時代が過ぎ去ったような感じがしました。ロータリーとは関係無い話をしてしまいましたが、私からは以上です。

◎幹事報告 - 佐藤政司幹事

- ・昨日会員増強委員会より今後入会の見込みのある方の打合せがありました。
- ・各ロータリークラブより週報が届いております。ご覧下さい。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 越田和副委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

出席状況 正会員数 57 名
本日の出席率 64.71%

◇スマイルボックス委員会 - 安斎委員

・いわき勿来ミツバチプロジェクトがいよいよ始動しました。何かとお世話になります。宜しく御教導の程お願い申し上げます。生駒、鈴木(雅)、横木、高木、川中、斉藤、渡邊(公)、高萩、鈴木、増子各会員及び鈴木(修) 会長エレクト、佐藤(政) 幹事
・拙い卓話ですが宜しくお願い致します。 釣巻会員
・前回例会休んでごめんなさい。

越田和、金成、松崎、富岡各会員

・本日早退ごめんなさい。 鈴木(雅)、安斎各会員
・毎回スマイルボックスを利用しています。

渡辺(勉)、船橋各会員

◎いわき勿来ミツバチプロジェクトご案内



いわき勿来ミツバチプロジェクト

会長 生駒 祐健 会員

この度、いわき勿来ミツバチ

プロジェクトという事業を立ち

上げることになりました。県と

市から活性化の予算を頂戴し始動します。ついでに 3 月 5 日にシンポジウムを開催することになっています。シンポジウムには東京農大客員教授の藤原先生に「ミツバチと人生の共生」というテーマで講演をして戴き、その後、パネルディスカッションがあり、当クラブ会員の中山さんにも出席して戴く予定です。皆さんの中で時間がとれる方は、是非勿来市民会館へお越し下さい。各商店街へはプランターと幟を用意する予定です。プランターは磐城農業高校さんへ、蜂を飼う箱は勿来工業高校さんへお願いしてあります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、植田町の活性化にご協力を宜しくお願いします。

◎会員卓話 - 釣巻 穰 会員



カメラがついでぶらり旅

皆さん、こんにちは。今日は「カメラがついでぶらり旅」の二回目で、バルト三国の話をし

ます。バルト三国はあまり馴染みがないかもしれませんが、ロシアの西側にあり、バルト海を挟んでフィンランドの対岸に位置します(写真 1)。南からリトア



ニア、ラトビア、エストニアの三国からなり、面積は約 4 ~ 7 平方キロメートル、人口は 140 ~ 350 万人程度ですので、それぞれの国が小ぶりの北海道や四国というところでしょうか。

これらの国は、しばしば「バルト三国」として一括りにされますが、歴史的背景や言語から見るとそれぞれが全く異なります。ラトビアとエストニアは、ドイツ系の影響が強く、リトアニアはポーランドとの関係が深くなっています。いずれの国も、第一次大戦後などのごく一時期を除き、他民族に支配され続けてきました。

首都は、リトアニアがビリニユス、ラトビアがリーガ、エストニアがタリンで、いずれも街の中心部に世界遺産となるような旧市街が残っており(写真 2)、



徒歩でゆっくりと観光できます。また、郊外には中世の古城が再建整備されている地区もあります(写真 3)。



これらを旅行中に取り貯めた写真を動画化したものでご覧に入れます。